



■きょうはみんなでクマがりだ

マイケル・ローゼン/再話
ヘレン・オクセンバリー/絵
山口文生/訳 評論社

晴れた日、みんなでクマをつかまえにかけます。草はらをカサカサカサ、冷たい川をチャブチャブチャブ、いろいろな場所を通り抜けていきます。たどり着いたほら穴に、大きなクマがいたからさあ大変！リズムカルな言葉の繰り返し楽しい絵本です。

■ピーターのいす★

E・ジャック・キーツ/さく きじまはじめ/やく 偕成社

ピーターに妹が生まれました。お父さんは、ピーターが使っていた家具をピンク色に塗り替えていきます。まだ青いままのいすを見つけたピーターは、いすを持って家出します。きょうだいを迎えた子どもの複雑な気持ちと、それを受け止める両親の様子が描かれています。



□がちょうのペチューニア★

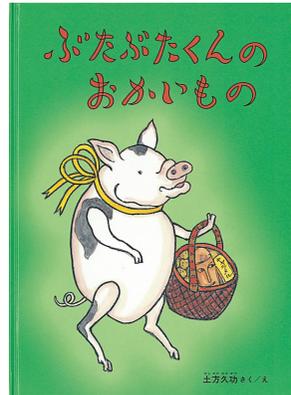
ロジャー・デュボワザン/作
まつおかきょうこ/訳 富山房

草地で本を拾ったペチューニアは、本を持っているだけで賢くなると思い込み、得意になります。そんなペチューニアに「とさかはなぜ赤いの？」「歯痛を治して。」と、動物たちが相談を持ちかけますが、答えはとんちんかんなものばかり。動物たちは大変な目にあいます。

□ぶたぶたくんのおかいもの

土方久功/さく・え 福音館書店

「ぶたぶた」がログセのぶたぶたくん、今日はお母さんに頼まれてお買い物です。パン屋、八百屋、お菓子屋と行く途中、かあこちゃんとかぐまくんに出会い、連れだってにぎやかに歩きます。早口おねえさんや、ゆっくりおばあさんなど個性的な店番が登場する楽しい絵本です。



よむよむ えほんだいすき



□マイク・マリガンとスチーム・ショベル

バージニア・リー・パートン/ぶんとえ
いしいももこ/やく 童話館出版

マイクは、自分のショベルカーは100人の人間が1週間かかる穴を1日で掘れると自慢していました。ところが、新式のショベルカーが発明されて仕事が無くなります。マイクは、ある町の市役所を建てるための穴を、1日で掘れなければお金は払えないと約束してしまいます。

□サリーのこけももつみ

ロバート・マックロスキー/文・絵
石井桃子/訳 岩波書店

サリーは、お母さんと山へこけももを摘みにいきます。山の反対側には、冬眠前の腹ごしらえに来た熊の親子がいました。サリーと子熊はこけももに夢中になるうち、お母さんを取り違えてしまいます。母親たちはそれぞれ、うしろにいるのが自分の子どもだと思い込んでいますが…。



■たまごをうってこぶたをかって

八百板洋子/再話
日置由美子/絵 福音館書店

あるところに、一人の若者がおりました。市場へと歩いて行きながら、若者は考えます。めんどりが産んだたまごを売って、こぶたを買って、大きくなった豚が子どもを産んで、その豚を売って大金持ちになろう！ さて、若者は大金持ちになれるでしょうか。

■はろるどのサーカス★

クロケット・ジョンソン/作 小宮由/訳
出版ワークス

ある夜、散歩に出かけたはろるどは、足を滑らせてまっさかさま。慌てたはろるどがむらさきのくれよんで線を引くと、線はゾウになってはろるどを受け止めてくれました。一本の線からサーカスの仲間たちが次々と登場する、想像力が広がる絵本です。



■しりとり

安野光雅/さくえ 福音館書店

絵でしりとりあそびをしましょう。はじめのページの動物、道具などの絵から好きなものを1つ選びます。言葉がつながる絵を探して次のページに進みます。最後は「ん」の絵でおしまい。子どもたちに親しみのあるものが、水彩でユーモラスに描かれています。

★のついている本はシリーズがあります。